

経営学部 経営学科
AO 方式 (I 期 ・ II 期)

2027年度

産業能率大学 経営学部
経営学科

総合型選抜
AO(アドミッションズ・オフィス)方式
(I 期・II 期) (○で囲む)

自己記述書

氏 名	(フリガナ)	性 別	高校名
	(漢字)	① 男	都 道 府 県
		② 女	高等学校

プロフィール

高校での活動に関する以下の項目について記述してください。

1. 生徒会・委員会での活動（主要なものを2つ記述してください）

名称	具体的活動（どのような仕事をしましたか）
役職・役割	活動期間
	高校 年生 月 ～ 高校 年生 月

名称	具体的活動（どのような仕事をしましたか）
役職・役割	活動期間
	高校 年生 月 ～ 高校 年生 月

2. 学内でのクラブ・サークル活動（もっとも力を入れていたものを1つ記述してください）

クラブ・サークルの名称	活動時間(平日)		活動時間(休日)		メンバーの数		
	平均	時間	平均	時間	総員	名	
役職・役割	活動期間						
	高校	年生	月	～	高校	年生	月
活動実績（日常の活動内容、大会・コンクール・発表会などへの参加や成績）							

3. 学外での活動（学外のクラブ・ボランティア活動など）

クラブ・ボランティアの名称	活動時間（平日）	活動時間（休日）	メンバーの数
	平均時間	平均時間	総員名
役職・役割	活動期間		
	高校年生月	～	高校年生月
活動実績（日常の活動内容、大会・コンクール・発表会などへの参加や成績）			

4. 趣味・特技

趣味：	特技：
-----	-----

5. 得意な科目・不得意な科目

得意な科目：	不得意な科目：
--------	---------

6. 高校2年次11月時点での典型的な(1)平日(月～金曜日)、(2)休日(土・日曜日)の過ごし方を、
下記の表を完成させて教えてください。

*曜日によって過ごし方は異なると思いますが(例えば、部活動は週2回、部活動のある曜日と無い曜日では過ごし方が異なる場合)、
あなたを理解するための最も典型的な過ごし方を教えてください

(例えば、部活動が重要であれば、部活動のある日を典型的な過ごし方として記入する、など)

NO	活動内容	記入例	(1) 平日	(2) 休日
1	部活動	3 時間	時間	時間
2	学校での授業以外の学習時間(授業に関連した宿題や課題、授業に関連しない自主学習、塾や予備校、家庭教師、自主学習など、あらゆる勉強を含みます)	1 時間	時間	時間
3	友だちと遊ぶ	時間	時間	時間
4	テレビを見る	1 時間	時間	時間
5	YouTube、動画配信サービス(Netflix, Amazonプライム・ビデオなど)の動画を見る	1 時間	時間	時間
6	友だちと電話, LINE, SNS(X(旧Twitter), Instagram, TikTokなど)などをする	2 時間	時間	時間
7	ゲームをする	時間	時間	時間
8	読書をする(ただし、マンガ、雑誌を除く)	時間	時間	時間
9	マンガ、雑誌を読む	0.5 時間	時間	時間
10	通学時間(往復)	1 時間	時間	時間
11	睡眠	6 時間	時間	時間
12	その他 ()	時間	時間	時間

*記入例を参考にして0.5時間(30分)単位で記入してください。
*縦の合計が、学校での授業時間(7～8時間)を含めて24時間を越えないように注意してください。

7. 学校や日々の生活についてお尋ねします。
下記の項目について、あてはまるものに☑をつけてください。

		あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
1	朝食を毎日とる	☐	☐	☐	☐
2	新聞を毎日読む	☐	☐	☐	☐
3	読書をする(電子書籍を含むが、マンガや雑誌は除く)	☐	☐	☐	☐
4	インターネット上でニュースや出来事を読む	☐	☐	☐	☐
5	規則正しい生活を送っている	☐	☐	☐	☐
6	学校や授業に間に合うよう時間にゆとりを持って行動する	☐	☐	☐	☐
7	授業の内容を理解している	☐	☐	☐	☐
8	学習意欲は高い	☐	☐	☐	☐
9	計画的に学習している	☐	☐	☐	☐
10	勉強をしていてわからないことが出てくると、それを解決する努力をする	☐	☐	☐	☐
11	大学の入試科目にない勉強、将来に関係のない勉強をする	☐	☐	☐	☐
12	学校行事(体育祭や文化祭など)には積極的に参加する	☐	☐	☐	☐
13	今までにボランティア活動によく参加してきた	☐	☐	☐	☐
14	今までにインターンシップ(企業や官公庁などでの職場体験、就労実習)に参加したことがある	☐	☐	☐	☐

以下の項目について、自由に率直に記述してください。

記述欄への記入にあたっては、黒ボールペンを使用し手書きしてください。

1. 本学に関心を持ったのはどのような理由からですか。

5

2. 将来（大学卒業後）、どのような職業につきたいか、あるいはどのようなビジネスを展開したいと考えていますか。

5

3. 上記2に記述した将来目標に向かって、本学でどのような勉強をし、いかなる能力を高めたいと思いますか。

4年間の学習計画を踏まえて記述してください。

5

4. あなたがこれまでの人生の中で、時間をかけて打ち込んで、自分自身で最も達成感を持っていることは何ですか。
そのことについて振り返り、打ち込むことができた理由や具体的な活動内容について記述してください。
また、その経験を大学生活でどのように活かしたい、または活かせると思うかについても記述してください。

5

10

5. 高校時代に取り組んだ探究学習あるいは課題研究について、そのテーマとテーマを決めた理由、取り組みを通じて学んだことについて記述してください。また、その学習や経験について大学生活での活用についても記述してください。

5

10

6. 最近（1～2 年間）の世の中のできごと（国際関係・政治・経済・社会・文化・時代の風潮・その他のいろいろな分野）で関心を持ったことがらを挙げて、それぞれに対するあなたの意見や感想を記述してください。

ことがら：

（意見・感想）

5

7. あなたには、どのような良い面があり、また、どのような解決すべき課題がありますか？

①あなたのまわりにいる方に、「自分はどのような人間なのか」をインタビューし、それを客観的に分析しまとめてください。
その際、出来るだけ年齢・性別が偏らないようできるだけ多くの人に聞いてみてください。

②次に、①の結果を踏まえ、あなたが大学4年間で自分自身を向上させるためにどのような目標を立て、それをどのように実現するかを記述してください。

①

5

②

5

8. 下記の課題について提出物を作成してください。

近年、日本各地で地域を支える商店や企業の廃業・後継者不足が深刻な課題となっています。地域に根ざしたビジネスは、商品やサービスの提供にとどまらず、人々のつながりや生活の基盤を支える重要な役割を担っています。しかし、その価値は日常の中では見えにくく、失われてはじめて気づかれることも少なくありません。このレポートでは、あなたの身近な地域のビジネスについて不可欠性を捉え、その価値を伝えるための応援企画を立案・検証することに取り組みます。

■STEP 1 対象の選定と地域における不可欠性の検証

あなたの身近な地域において、「もし明日そのお店（企業・団体等）が無くなったら、誰が、どのように困るか」を具体的に挙げ、そのお店（企業・団体）が地域に不可欠である理由を論理的に説明してください。「地元で愛されている」といった感情的な理由ではなく、代替手段の有無や地域経済・コミュニティへの影響など、客観的な根拠をもとに記述してください。

■STEP 2 インタビュー計画書の作成（A4 用紙 1 枚）

STEP1 で選んだビジネスの担当者（企業・団体等）と、そのビジネスに関わる「ステークホルダー」に話を聞くための計画書を作成してください。「ステークホルダー」とはどのような意味か自分で調べ、対象者を選定してください。インタビューがうまくいくために必要だと思うことを自分で考え、誰に、何を、なぜ聞くのかが伝わるようにまとめてください。この計画書は A4 用紙 1 枚とし、8 枚以内の合計枚数に含みます。

■STEP 3 インタビューの実施と現状分析

作成した計画書をもとにインタビューを実施し、以下の 3 点を明らかにしてください。

- ・そのビジネスが現在直面している課題
- ・そのビジネスが地域に対して果たしている役割
- ・10 年後、そのビジネスはどうなっていると予想されるか

聞いた内容を並べるだけでなく、「なぜそうなっているのか」「何が本当の問題か」を自分なりに読み解いてください。

■STEP 4 応援企画の立案

インタビューで見えてきた課題をもとに応援企画（イベント、新サービスなど）を立案してください。なお、SNS を主軸とした企画は不可とします。企画はレポートの流れの中で説明し、図・グラフ・表なども自由に活用してください。その際、以下の内容を盛り込んでください。

企画内容：誰に何を伝え、どのような行動を促すか

予算内訳：広告費・資材費・人件費など

（選んだビジネスの規模に合った現実的な金額を設定すること）

期待される効果：その予算を投じることで生まれる利益または社会的な変化

■STEP 5 フィードバックの収集と効果検証

立案した企画を関係者に見てもらいアドバイスをもらってください。そのフィードバックをもとに企画の有効性と改善点を整理し、「この企画は本当に効果があるか」を自分なりに検証してください。

<課題作成上の注意点>

- ・表紙を含め、A4 用紙 8 枚以内で作成ください。（用紙の両面使用は不可）
- ・STEP は取り組みの段取りを示したものです。レポートは STEP の順番や番号にとらわれず、自分なりの構成でまとめてください。
- ・インタビュー計画書（STEP2）は A4 用紙 1 枚とし、8 枚以内の合計枚数に含みます。
- ・図・グラフ・表などを使用する場合も、8 枚以内に収めてください。
- ・表紙に課題のタイトル（独自にタイトルを策定ください）、高校名、氏名を記載ください。
- ・この課題はパソコン（Word 等のワープロソフト）で作成ください。手書きは不可とします。
- ・撮影・インタビューなどを行う際は、産業能率大学の入学試験課題作成のためと伝え、データおよび画像などを使用する場合は必ず許可を取得ください。
- ・面接時にこの課題についてプレゼンテーションを行ってください。プレゼンテーションは 3 分程度で実施できるよう準備してください。なお、プレゼンテーション用の資料作成は不要です。

9. これまでの質問項目について書ききれなかったことや、質問項目以外のことで、強くアピールしたいことなどを、7・8ページを使って自由に記述してください。これまでの記述内容と重複があってもかまいません。

5

10

15

20

25

